

株式会社 カワムラ



贈呈理由 家庭用エコキュートの積極的な導入を進め、北海道内でのエコキュート採用数がもっとも多い地場ビルダー



外観(モデル)

株式会社カワムラは、大正7年の創業以来、旭川市を中心とした道北エリアにおいて、夏と冬の寒暖差の厳しい自然環境を克服する住宅開発で培った多くの経験を活かし、北国の理想的な高断熱・高気密住宅づくりに取り組んでいる。

省エネ・創エネ設備が標準仕様の「スマートハウスfeelシリーズ」

給湯設備にエコキュート、冷暖房設備に寒冷地仕様のヒートポンプ冷暖房エアコン、さらに太陽光発電システムを標準仕様として、エネルギー自給自足の家計にやさしい住宅づくりを目指している。

企画住宅の特徴である設計費用の抑制や、建築資材を自社プレカット工場で生産することにより、約3,200工程の現場作業を削減しており、価格を抑えながらも良質な企画住宅「スマートハウスfeelシリーズ」を提供している。また、賃貸住宅「Relaシリーズ」でも、エコキュー

トやヒートポンプ冷暖房エアコンを積極的に採用している。

このような同社の取り組みにより、道北エリアを中心に多くのお客さまに選択され、北海道内でのエコキュート採用数が最も多い地場ビルダーである。

住宅市場における省エネ・省CO₂実現のため、さまざまな取り組みを実施

本年3月に新たに建築したゼロエネ企画住宅「さくら」は、家全体を計画対流で快適な温度ときれいな空気で満たす冷暖房・空調・換気システム「Jinen(じねん)」を採用し、床下のヒートポンプ冷暖房エアコン1台での冷暖房を可能とした。

この企画住宅は、ヒートポンプ機器の採用にあわせ、太陽光発電の「創エネ」を加えることで、同社では2020年までにすべての新築住宅においてZEHを達成する計画である。

また、NEDO、九州大学との共同開

発による「太陽熱活用型実証住宅」は、省エネ基準の地域区分Iである旭川の気象条件のもと、太陽熱エネルギーの活用と省エネ効果を確認する実証住宅である。高性能断熱、蓄熱建材、太陽熱活用システムにより、太陽熱エネルギーを最大限活用し、光熱費ゼロを見すえた近未来実験住宅の開発にも積極的に取り組んでいる。



モデルルーム

スマートハウスfeelシリーズ

所在地:北海道旭川市
建築設計:(株)カワムラ
竣工:2016年3月
■蓄熱設備概要
エコキュート 370ℓ×1台